

県政を、もっと身近に!
あなたが主役!

神奈川県議会議員

永井まさと

よこすか
未来会議

無所属
47歳

News Letter Vol.18

- 質疑 水源環境保全税と森林環境税について
- 質疑 金属窃盗について
- 同会派の近藤議員が副議長に就任

質疑 金属窃盗について

現在、私は常任委員会に加え、安全安心特別委員会にも所属しています。6月の特別委員会では、大磯町の県道冠水事件を受けて、金属窃盗について取り上げました。全国的に多発している金属窃盗に関して、今年5月に警察庁長官が対策を各都道府県に指示したと発表しています。本県でも、**大磯町で県が管理する地下道排水ポンプの電源ケーブルが盗まれ、6月18日の大雨時に排水できず、県道が冠水する事態が発生しました。**また、工事現場の銅線や太陽光発電所の電気ケーブルなども窃盗被害に遭っており、県警察の取り組みに注目しています。

県内における金属窃盗の認知状況ですが、令和5年には411件で、令和6年1月から5月までの間では211件と、前年同期比で9件減少しています。全国の発生認知件数は16,276件で、そのうち関東圏では約6割が発生しているとのこと。県内での被害の特徴としては、電気ケーブルや銅線、太陽光発電施設、その他解体工事現場からの盗難が挙げられます。

神奈川県内では認知件数が比較的少ないものの、全国の発生件数の約6割が関東圏に集中しています。神社の銅版を剥がして盗むケースも報告されています。**工事現場や施設からの窃盗は、大磯町の県道冠水のように、予期せぬ災害を引き起こす恐れもあり、私は被害防止と検挙の両面での尽力を要望しました。**

さらに、金属類の買取を防ぐための条例が、本県も含め31都府県で制定されていない現状があります。そこで、**条例制定も視野に入れた取り組みの進展を提案しました。**このような対策を講じることで、金属窃盗の抑止と安全安心な地域社会の実現を目指すことが肝要です。



永井まさと公式LINEの「友だち登録」をお願いします!

皆様のご登録をお待ちしております。



公式LINEでは県政や市政の最新情報、私の政治に対する考え方や姿勢について毎日発信しています。直接やり取りもできます。皆さんからの意見・要望・感想が委員会や本会議での質疑につながることもあります。ぜひご意見をお寄せください。



タウンマッチ

永井まさとのプロフィール、政策、政治に対する姿勢、活動報告、今までの選挙履歴など様々な情報がギュッと詰まったポータルサイトです。各種SNSへのリンクもありますので、ぜひアクセスしてみてください。



永井まさとの経歴

- 1977 …… 横須賀生まれ
- 1990 …… 横須賀市立鴨居小学校卒業
- 1993 …… 横須賀市立鴨居中学校卒業
- 1996 …… 神奈川県立横須賀高校卒業
- 2000 …… 東京工業大学工学部経営システム工学科卒業
- 2000-5 …… カナダ留学
- 2005 …… (株)イーオン・イースト・ジャパン入社
- 2011 …… 横須賀市議会議員初当選(5531票, 第3位)
よこすか未来会議を結成(団長)、
横須賀市監査委員、副議長などを歴任
- 2023 …… 神奈川県議会議員初当選(19,365票, 第4位)
かながわ未来県議団を結成

〒239-0813
神奈川県横須賀市鴨居3-5-5
TEL. 046-844-8058
発行 / 2024年7月16日
発行者 / 永井まさと



永井まさと ホームページ



質疑 水源環境保全税と森林環境税について

6月の定例議会で環境農政常任委員会に出席しました。今回は、神奈川県の特例課税である水源環境保全税と、国税の森林環境譲与税について、その用途から二重課税にならないのかについて執行部に説明を求めました。

Q 永井まさと委員

水源環境保全税と森林環境譲与税の用途および周知について伺います。平成19年度から導入された水源環境保全税は県民税超過課税であり「将来にわたる良質な水の安定的確保」を目的としていますが、今年度からは新たに国の森林環境税も導入されています。**長引くデフレと消費税増税で税が重くのしかかる県民にとってこれらの税が適切に使われているかどうかについて納得感のある説明が必要です。**それぞれの税の概要について具体的に教えてください。

A 水源環境保全課長

水源環境保全税は平成19年度より個人県民税の超過課税として導入しています。主にダム上流域などの水源保全地域で、森林整備や河川の自然浄化対策などに使用しています。森林環境税は今年6月より国税として導入され、市町村が徴収し、温室効果が



スの削減や災害防止を目的とし、市町村の森林整備や木材利用促進に活用されます。

Q 永井まさと委員

それぞれの税の用途について、具体的にどのような施策に使われていますか。

A 水源環境保全課長

水源環境保全税は、森林整備、人工林の整備、間伐材搬出促進、河川の自然浄化対策、地下水保全対策などに活用しています。また、森林環境譲与税は、市町村が主体となり、水源保全地域以外の森林整備、担い手の育成・確保、木材利用促進に活用します。県では市町村への技術支援や病害虫被害の調査に使用します。

Q 永井まさと委員

これらの税が課税の重複に当たらないかどうかについて、詳しく説明してください。

A 水源環境保全課長

水源環境保全税と森林環境譲与税の用途を区分し、水源保全地域外で森林環境譲与税を活用します。例えば、**水源環境にあまり影響を及ぼさない小規模な人工林や竹林の整備、森林病害虫対策に使用し、課税の重複には当たらないと考えています。**

Q 永井まさと委員

県民への周知はどのように行っているのか、また認知度について教えてください。

A 水源環境保全課長

周知活動としては、県のホームページでの説明を行っています。また納税通知書への同封物で説明している市町もあると聞いています。毎年、県民フォーラムやシンポジウムを開催しています。認知度については、フォーラム参加者の7割が認知している一方、県民全体では

3割程度であり、さらなる周知と理解促進を図っていきたいと考えています。

総括 永井まさと委員

水源施策の重要性を広く県民に周知し、超過課税と国税のすみ分けについても理解を促進することが必要です。今後も積極的な広報活動をお願いします。

今回の質疑は県民の方からの問い合わせをもとに構成させていただきました。何か疑問に感じる点、気になる点がある場合にはお問い合わせください。

委員会の質疑は神奈川県議会の録画中継にて視聴することができます。右の二次元コードよりアクセスしてご覧ください。



同会派の近藤議員が副議長に就任

5月に開催された本会議において、私が所属する会派かながわ未来神奈川県議会議員団から近藤大輔議員(逗子市・葉山町選出)が副議長に選出されました。同じ三浦半島から選出されている仲間の近藤議員だけに頼もしい限りです。

エネルギー価格を始めとする物価の高騰、近年頻発する大規模災害に対する備え、脱炭素社会への取り組みや、ともに生きる喜びを分かち合うことのできる共生社会の実現など、県が向き合う課題は山積しています。近藤副議長と共に県政課題にしっかりと取り組んでいきます。

